



黒川 美克 議員

美術館について

問 かわら美術館の現況について。

答 観覧者数は平成27年度43,455人、平成28年度35,084人。陶芸利用者は平成27年度7,199人、平成28年度4,301人。施設利用状況は平成27年度697件、

16,425人、平成28年度632件、17,046人。合計人数は平成27年度67,079人、平成28年度56,431人で、平成27年度の指定管理料は1億6,144万9千円、平成28年度1億600万円で、利用者1人当たりの金額は平成27年度が2,407円、平成28年度が1,878円です。

問 かわら美術館の今後について。

答 中央公民館で開催していた文協祭を、今年度から美術館で開催することになり、「みんなで美術館」という目標実現に向け、昨年度が「気になる美術館」、今年度が「いっしょに楽しむ美術館」、来年度は「自ら生み出す美術館」、平成31年度は「高浜市の誇りになる美

術館」。指定管理最終年度の平成32年度は「市民とともに呼吸・成長する美術館」という目標を掲げて取り組んでいきます。

いきいきクラブについて

問 いきいきクラブの現況について。

答 クラブの歴史は古く、昭和39年4月、高取地区に創設された老友会がその始まりで、当時は老人クラブという名称で活動され、平成17年1月から、現在の「いきいきクラブ」という名称に変更されました。連合会設立当初はクラブ数が10、会員数1千人程でしたが、現在のクラブ数は18で、会員数は1,418人です。

問 いきいきクラブの今後について。

答 高齢者の皆さんが自宅にこもることなく街中へ出かけ、地域の皆さんと交流していただく仕掛けとして、高浜市では健康自生地創出に力を注いでいる。たかはま健康チャレンジでは、健康づくり活動をはじめ、健康診査の受診や地域活動に参加していただくと、市内の入浴施設で利用できる優待券を差し上げている。議員の提案した入浴以外のインセンティブは、今後どういったものがよいか検討します。



杉浦 康憲 議員

保育園・幼稚園について

問 待機児童数の推移と現在の状況について。

答 平成27年4月1日は0人。平成28年4月1日は、1歳児4人。平成29年4月1日現在、1歳児と2歳児を合わせて17人です。

問 今後の保育園や幼稚園

の整備について。

答 高取幼稚園及び高取保育園の認定こども園化を、平成31年4月を目指して進めています。高浜幼稚園の認定こども園化を高浜小学校等整備事業のスケジュールと調整しながら、民営化を前提に検討しています。

教育行政について

問 未来を見据えて、学校教育では今後、子どもたちにどのような学力を身に付けさせたいと考えていますか。

答 いつの時代も教育の目指すところは、子どもたちの生きる力を育むことにあります。生き

る力とは、確かな学力・豊かな心・健やかな体のことです。3要素をバランスよく育むためには、生活科や総合的学習が最も適していると考えます。当市では、この時間に高浜カリキュラムを編成し、各教科で得た知識や技能を生かし、様々な視点で考える力（思考力）や、人に分かりやすく伝えたり発表する力（表現力）、自ら深く掘り下げて学びたい力（探究心）、実際にやってみようと思う力（実践力）を育てています。

ボートレースチケットショップ高浜について

問 運営協議会の組織の考え方と、立ち上げの予定時期について。

答 運営協議会は、施設運営と地域環境の保全のため、関係者による相互の連絡調整と対策の協議が目的です。立ち上げ時期は現時点で定まっていますが、施設完成は碧海総合研究所によると、警察との協議や国土交通省の認可等手続を含め、年度内を予定とのことです。会の役割や委員構成等の準備期間を考慮すると、開設時期を見据えて設置事業者や施行者、地元町内会等と準備を進めていく必要があると考えます。